

平成24年度事業報告(案)

平成24年度収入支出決算(案)

平成25年度収入支出補正予算(案)

平成26年度事業計画(案)

平成26年度収入支出予算(案)

平成24年度事業報告（案）

会 員		495人
役 員	会 長	1人
	副 会 長	4人
	理 事	25人
	監 事	3人

（物故会員）

梶山 清子（元大阪市北保健所長）
村上 義三（元静岡県沼津保健所長）
中川 秀幸（元富山県富山保健所長）
鈴木 尚夫（元秋田県秋田保健所長）
倉橋 佳英（徳島県徳島保健所長）

I. 総 会

第69回全国保健所長会総会

日 時：平成24年10月23日（火）

場 所：山口県・ホテル松政

1. 第58回全国保健所長会会長表彰式
2. 講演「地域保健の最近の動向」 宮寄 雅則 厚生労働省健康局がん対策・健康増進課長
3. 報告事項
 - 1) 会務報告（中山常務理事）
 - 2) 担当理事会報告
 - ①総務担当（中山常務理事）
 - ②渉外担当（大江常務理事）
 - ③学術担当（遠藤常務理事）
 - ④研修担当（柳常務理事）
 - ⑤広報担当（山口常務理事）
 - 3) 委員会報告
 - ①地域保健の充実強化に関する委員会（笹井委員長）
 - ②健康危機管理に関する委員会（岸本委員長）
4. 議事
 - 1) 平成23年度事業報告及び収入支出決算報告および監査報告
中山総務担当常務理事より説明、野尻監事より監査報告があり原案どおり承認された。
 - 2) 平成24年度収入支出補正予算（案）について
中山総務担当常務理事より説明があり、原案どおり承認された。
 - 3) 平成25年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について
中山総務担当常務理事より説明があり、原案どおり承認された。
5. 名誉会員推戴

村主 千明（前豊島区池袋保健所長）
澁谷 いづみ（現愛知県豊川保健所長）

6. 日本公衆衛生協会の事業について

篠崎 英夫（日本公衆衛生協会理事長）

7. 研究事業報告

1) 東日本大震災被災保健所に対する今後の支援のあり方に関する研究

松本 一年（愛知県一宮保健所）

2) 公衆衛生に係る人材の確保・育成に関する調査及び実践活動

宇田 英典（鹿児島県伊集院保健所）

8. 会員協議

「今後の保健所活動の展望～地域保健対策検討会報告を受けて～」

座長：岩間 真人（静岡県御殿場保健所）

相田 一郎（北海道帯広保健所）

基調講演 地域保健対策検討会報告と期待する今後の保健所活動

林 謙治（国立保健医療科学院名誉院長）

講演1 地域保健充実委員会からの提言

横川 博（富山県新川厚生センター）

講演2 保健所によるソーシャルキャピタルの施策への位置づけと醸成

中瀬 克己（岡山市保健所）

講演3 健康危機管理委員会からの提言

岸本 泰子（島根県出雲保健所）

講演4 保健所に期待される地域医療連携体制構築の役割

惠上 博文（山口県宇部環境保健所）

II. 理事会

1. 第1回理事会

日時：平成24年5月29日（火）

場所：日本公衆衛生協会3階会議室

1) 報告事項

総務・渉外・学術・研修・広報担当報告

（中山常務理事・大江常務理事・遠藤常務理事・倉橋副常務理事・山口常務理事）

委員会報告

地域保健の充実強化に関する委員会（山中副会長）

健康危機管理に関する委員会（岸本委員長）

その他報告

国民栄養調査・企画検討委員会（宇田副会長）

保健所地域連携検討会（佐々木会長）

2) 議題

① 今期の全国保健所長会の体制および運営について

② 平成23年度事業報告（案）について

③ 平成23年度収入支出決算（案）について

④ 平成25年度要望書について

⑤ 第69回全国保健所長会総会の運営および準備状況について

すべて原案どおり承認された。

2. 第2回理事会

日 時：平成24年8月31日（金）

場 所：アルカディア市ヶ谷

1) 報告事項

総務・渉外・学術・研修・広報担当報告

（中山常務理事・大江常務理事・遠藤常務理事・柳常務理事・山口常務理事）

委員会報告

地域保健の充実強化に関する委員会（笹井委員長）

健康危機管理に関する委員会（岸本委員長）

その他報告

厚生科学審議会等

2) 議 題

① 平成24年度収入支出補正予算（案）について

② 平成25年度事業計画（案）および収入支出予算（案）について

③ 第69回全国保健所長会総会について

④ 名誉会員の推薦について

⑤ 会則に基づく規定の変更について

⑥ 健やか親子21推進協議会課題3 主管幹事団体について

すべて原案どおり承認された。

3. 第3回理事会

日 時：平成25年2月19日（火）

場 所：（財）日本公衆衛生協会1階会議室

1) 報告事項

総務・渉外・学術・研修・広報担当報告

（中山常務理事・大江常務理事・遠藤常務理事・柳常務理事・緒方理事）

委員会報告

地域保健の充実強化に関する委員会（笹井委員長）

健康危機管理に関する委員会（岸本委員長）

その他報告

厚生科学審議会等

2) 議 題

① 平成26年度保健所行政の施策及び予算に関する要望書（案）作成について

② 第70回全国保健所長会総会の運営について

③ 平成24年度決算見込みについて

すべて原案どおり承認された。

4. 担当理事会

1) 渉外担当報告

（1）平成25年度「保健所行政の施策及び予算に関する要望書」の作成

- ①平成 24 年 2 月 7 日の全国保健所長会理事会で要望書とりまとめ手順を説明
- ② 23 年度の渉外担当理事で作成した要望書原案を踏まえ、24 年度の渉外担当理事で要望書のたたき台を作成
- ③ 事務局から、全国保健所長会役員に対してたたき台について意見照会（5 月 9 日～21 日）、出された意見をもとに要望書案作成
- ④ 平成 24 年 5 月 29 日、全国保健所長会理事会で要望書案について説明
- ⑤ 渉外担当理事で要望書最終案取りまとめ、会長・副会長が最終確認
- (2) 平成 25 年度「保健所行政の施策及び予算に関する要望書」の提出と配布
 - ① 平成 24 年 6 月 29 日 厚生労働省に要望書提出
出席者：全国保健所長会（会長、副会長、渉外担当常務理事、事務局）
訪問先：外山健康局長、三浦食品安全部長、塚原厚生科学課長等
厚生労働省関係局・課・室に要望書提出
 - ② 都道府県庁、保健所へ要望書配布、全国保健所長会ホームページに掲載、保健衛生ニュース（24 年 7 月 16 日号）に掲載、公衆衛生情報（24 年 11 月号）に掲載
- (3) 平成 25 年度「保健所行政の施策及び予算に関する要望書」の成果検証
渉外担当理事会でとりまとめ、平成 25 年 2 月 19 日の全国保健所長会理事会で説明
- (4) 平成 26 年度「保健所行政の施策及び予算に関する要望書」の作成
 - ①平成 25 年 2 月 19 日の全国保健所長会理事会で要望書とりまとめ手順を説明
 - ②昨年度と同様の手順で行い、6 月中に厚生労働省に提出予定

2) 学術担当報告

- (1) 2010 年国民健康栄養調査対象者の追跡開始（NIPPON DATA 2010）と NIPPON DATA 80/90 の追跡継続に関する研究への協力依頼（8 月 15 日）
- (2) 健やか親子 21 推進協議会課題 3 主管幹事団体関係
 - ①幹事会の開催（10 月 10 日）
 - ②健やか親子推進協議会（課題 3・課題 1）講演会の開催（2 月 24 日）
- (3) 地域保健総合推進事業（全国保健所長会協力事業）関係
 - ①以下 10 事業の実施決定。
 - 1 健康づくりにおけるソーシャル・キャピタルの育成等に関する
保健所の役割に関する調査研究
 - 2 災害時における保健所の公衆衛生（地域保健）に関する調整機能の強化に関する研究
 - 3 精神科医療と地域ケアの連携推進事業
 - 4 在宅医療・医療介護連携・地域包括ケアの推進における保健所の役割に関する研究
 - 5 地域保健の視点で担う今後の保健所母子保健活動の推進に関する研究
 - 6 東日本大震災復興期における保健所の被災者への支援のあり方に関する研究
 - 7 都県域を跨いだ都市部の地域医療連携システムの構築
 - 8 地域医療再生計画における保健所の関与に関する研究
 - 9 公衆衛生医師の確保・人材育成に関する調査及び実践事業

10 精神障害者アウトリーチにおける保健所の果たすべき役割に関する研究

②中間報告会（12月17日）および発表会（3月4日）

③平成25年度地域保健総合推進事業（全国保健所長会協力事業）の募集

会員へ平成25年2月20日地域保健総合推進事業（全国保健所長会協力事業）を募集し、
3月27日締め切った。

（4）厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

①全体研究班会議（6月14日、12月6日）およびフォーラム（2月23日）

②研究班報告書提出（1月下旬）および発表会（3月4日）

（5）院内感染対策における感染対策協議会への要望提出

院内感染について保健所が病院に対して助言、指導を行う場合に、保健所に対して専門的な支援をお願いする旨の要望書を9月24日に国公立大学附属病院感染対策協議会および私立医科大学病院感染対策協議会へ提出

（6）地域保健総合推進事業（国際協力事業）

①米国公衆衛生協会第140回年次総会への派遣者の推薦および派遣（3名）

②WHO本部保健医療事情調査への派遣者の推薦及びの派遣（5名）

派遣応募者を会員から募り、日本公衆衛生協会へ推薦を行い、派遣した。

3) 研修担当報告

全国保健所長会研修会

（1）テーマ：保健所機能の強化はどうあるべきなのか

—地域保健指針の見直しと災害時対応—

（2）趣旨：

今年度は地域保健指針の見直しがあり、指針で求められている保健所の役割も大きく変化し、東日本大震災から1年9ヶ月以上経って、災害時における保健所の果たすべき役割とその準備について、一定の共通認識が必要となっている。今回の研修では、講師からの問題提起と会員間の討論を通じて、これからの保健所の強化のあり方を検討した。

（3）日 時：平成25年1月29日（火）13:00～17:45 意見交換会 18:00～

1月30日（水）9:15～15:10

（4）場 所：千代田区いきいきプラザ一番町カスケードホール

（5）概 要：

<1日目> 「地域保健指針の見直しと保健所の役割」 13:00～17:45

①「厚生労働省講演：指針見直しと保健所への期待」

厚生労働省健康局 がん対策・健康増進課 地域保健室長補佐 岡田 就将

②ソーシャルキャピタルを含めた地域と保健所の関係性

大阪府枚方保健所長 笹井 康典

③医療連携における保健所の役割

山口県岩国健康福祉センター所長 石丸泰隆

④在宅ケアにおける保健所の役割

富山県砺波厚生センター長 大江 浩

総合討論<1>座長：兵庫県洲本保健所長 柳 尚夫

宮崎県中央保健所長 藤崎 淳一郎

<2日目> 「災害時における保健所の役割」－支援のあり方と準備－ 9:15～15:10

①厚生労働省講演：国としての基本方針

厚生労働省健康局 がん対策・健康増進課 地域保健室長補佐 岡田 就将

座長：徳島県三好保健所長 中川洋一

②災害時における保健所の公衆衛生に関する調整機能の強化に関する研究班より

○静岡県の災害時の取り組み

静岡県危機管理部危機報道監 岩田 孝仁

○大分県における災害時保健所機能の強化

大分県中部保健所所長 藤内 修二

○保健所地域連携検討会の取り組みと保健所での準備状況

岡山市保健所所長中瀬克己

総合討論<2> 座長：高知県中央東福祉保健所 田上 豊資

③東日本被災地からの近況や災害対策でのトピックス

○岩手県 岩手県宮古保健所長 柳原 博樹

○宮城県 仙台市 宮城野保健所長 坂東 毅彦

○福島県 いわき市保健所長 新家 利一

総合討論<3> 座長：青森県八戸保健所長 宮川 隆美

(6) 参加状況

研修会出席者総数 合計150名 (会員・講師129名 会員外21名)

昨年より30名増の多くの参加者を得ることができた。そのため、結果的に会場がやや手狭となってしまったことで、参加者に迷惑をかけたことが反省点である。

(7) 参加者からの評価

参加者からの研修に対するアンケート(約70名からの回答あり)で、①とても参考になった②参考になった③少し参考になった④あまり参考にならないの4段階で評価してもらった。その結果は①②を参考になった、③④を参考にならなかったとすると1日目の講演とシンポジウムでは、86～92%が参考になった、2日目午前中は87～96%、午後のレポートは99%、討論3は86%が参考になったと評価している。

(8) 研修の成果と今後

全体の研修への評価は、参考になったと言う点では高かったものの各保健所への活動につながるものとなったかについては、議論のあるところである。「地域保健の指針見直しと保健所の役割」では、ソーシャルキャピタルの一般概念に関する知識は深まったが、保健所活動にどう結びつくのかは、これからの課題であるし、医療連携は、その必要性はわかるが、保健所の具体的な役割がわからないというものや、市型保健所の参加者か

らは立場の違いを感じるというような自由記載があり、また在宅ケアの講演については、積極的に取り入れたいという意見もあった。

2日目の「災害時における保健所の役割」では、ICS への理解は深まったが、今後の保健所活動に具体的にどう組み入れていくのか、また、防災計画との整合性があるのか、また、県レベルとブロックそして国レベルでの共通認識作りをどうしていくのかなど多くの課題があり、まさにこれから解決しなければいけないという認識を参加者が持ったセッションであった。

午後は、被災地からのその後のレポートで、地域による違いと特に福島原発による継続的な被害の根深さが印象的であった。

指針の見直しも、災害対策も保健所への期待が大きい課題であるが、今後も全国保健所長会として、各保健所にとって単なる知識の伝達ではなく、課題解決に役立つような研修を継続していくことの必要性を強くした研修会であった。

4) 広報担当報告

全国保健所長会 Web サイトの作成、管理及び運営を行っています。Web サイトへの掲載については、申請に応じて随時新しいものを更新・掲載しています。今後とも、理事会、委員会、総会報告、研究班報告などを掲載し、全国保健所長会の活動を周知してゆきます。

また、当会の Web サイトをリンクしたいとする希望についても、それぞれの団体の申請を踏まえ、随時検討し、協力していくこととしています。また、これまで掲載されているコンテンツ等については、掲載量が膨大になってきており、一部見づらくなってきていることから、掲載時期や掲載内容等を元に、経年的に閲覧できる等、わかりやすいホームページに向けて順次、整理していくこととしています。

なかでも、地域保健法第 7 条に示されている保健所の調査・研究事業として重要な、保健所長会協力事業である地域保健総合推進事業等の報告書については、会員を含む関係者のレビュー等が可能になることと、これまでの取り組みを積極的に情報発信することを目的として、掲載可能な過去 5 年分を目途に報告書を電子ファイル化し、整理の上、順次、掲載することとしています。平成 24 年度に行った主な事業は以下のとおりです。

(1) 全国保健所長会ホームページの会員限定ページのセキュリティ向上

全国保健所長会の名簿（会員限定）には、保健所長の氏名が記載されており、会員限定のページに保管してあるが、一部の検索サイトで名簿を閲覧できることが会員から指摘されました。こうしたことから会員限定ページを、ベーシック認証という方法によりセキュリティの向上をし、会員以外からは会員限定名簿の閲覧ができないよう、平成 24 年 9 月 1 日からホームページの改正を行いました。会員のページの ID、パスワードが平成 24 年 9 月から新しくなっています。

(2) 全国保健所長会ホームページのリンク切れ解消とコンテンツの整理

ホームページ上でリンク切れが散見されますので、これを解消しつつ、資料や事業報告を整理しています。また、ホームページのレイアウトの修正やフォルダー整理によ

り、サイトの「機能性（使いやすさ）」を向上させる作業を行っています。（平成 25 年度も継続して作業を続けます）

（3）雑誌「公衆衛生情報」への原稿について

平成 24 年度の原稿依頼を予定通りに終了しました。平成 25 年度も継続して雑誌「公衆衛生情報」へ原稿（「保健所活動最前線」、「東日本大震災」、「期待の若手シリーズ」、「全国保健所長会だより」、「市町村活動自画自賛」）を提供してゆく予定です。

ア)「保健所長便り」について

当初は 8 月から偶数月に連載するはずであった「保健所長便り」ですが都合により、9 月から奇数月の連載となりました。9 月号には柳邦治所長（山口県健康福祉センター）から全国公衆衛生学会について原稿をいただきました。11 月号は山口がヒラメの刺身を食べた後のクドア食中毒の経験について書かせていただきました。その後、1 月号は広報担当理事の緒方剛先生、3 月号は研修担当常務理事の柳尚夫先生に原稿をご依頼しました。原稿依頼の時期が遅くなりまして、多くの先生方にご迷惑をおかけしました。

イ) 公衆衛生情報誌への掲載「期待の若手シリーズ」について

以下の先生方に 9 月号からご依頼しました。今後も若手（定義は「実年齢にかかわらず、心が若い人は若手」とします）の方の原稿を募集していきます。平成 24 年 4・5 合併号と 6・7 合併号は北海道岩見沢保健所の馬場俊昭先生にご依頼をし、8 月号は休みとしました。皆、将来を嘱望される若手だけあって、勢いのある原稿でした。

- ①高橋千香先生 東京都北区保健所 9 月号
- ②島田晃秀先生 三重県松阪保健所 10 月号
- ③執行睦美先生 福岡市中央保健所 11 月号
- ④西垣明子先生 長野県松本保健所 12 月号
- ⑤糸数 公先生 沖縄県八重山保健所 1 月号
- ⑥梅木和宣先生 厚生労働省 2 月号
- ⑦安藤滋敏先生 北海道紋別保健所 3 月号

ウ)「市町村活動 自画自賛」

テーマは up-to-date な課題（大震災関連含む）や市町村の機能として欠かせない業務とし、地域保健総合推進事業（保健所長会協力事業）、公衆衛生学会での発表事例、奨励賞受賞者の活動から、県型、市型保健所のバランスを考慮しながら選定し掲載します。

執筆者	所属	掲載号	テーマ
①牧野所長	島根県益田保健所	4・5 号合併号	糖尿病対策
②中瀬所長	岡山市保健所	6・7 月合併号	自殺対策
③矢野所長	札幌市保健所	8 月号	たばこ対策
④南部所長	福岡市西保健所	9 月号	生活習慣病対策
⑤川村主任主査	十和田市民生部生活環境課	10 月号	セーフコミュニティ
⑥松下管理栄養士	飯田市保健課	11 月号	食育について
⑦安田診療部長	静岡県立総合病院	12 月号	トリアージ

- | | | | |
|--------|------------|-----|--------------|
| ⑧赤城参事 | 筑西市健康増進部 | 1月号 | 筑西市赤城元気館について |
| ⑨樋口副課長 | 伊万里市健康づくり課 | 2月号 | 子育てお助けハンドブック |
| ⑩管根会長 | 川崎市運動普及推進員 | 3月号 | 運動普及推進員活動 |

(4) 外部からの調査依頼に対するネットワーク使用の可否について

保健総合推進事業等の所長会協力事業とは別の、外部からの所長会のメンバーを対象としたアンケート調査に関して、これらを一斉メール等のネットワークを活用し行うことに対しての可否については、広報担当理事会にて検討した上、決めていきます。また、会員へのアンケート調査の場合には、学術担当理事会とも相談の上、決定いたします。

Ⅲ. 委員会

1. 地域保健の充実強化に関する委員会

委員会構成 顧問 宇田英典（鹿児島県伊集院） 山中朋子（青森県弘前）
 笹井康典（大阪府枚方：委員長） 横川博（富山県新川：副委員長）
 山本長史（北海道室蘭） 阿部孝一（郡山市） 大黒寛（東京都多摩立川）
 金田麻里子（荒川区） 小林一司（長野県佐久） 服部悟（愛知県衣浦東部）
 和田行雄（京都府山城北） 森脇俊（豊中市） 牧野由美子（島根県益田）
 南部由美子（福岡市早良）

○平成 24 年度の取り組み

「健康づくりにおけるソーシャル・キャピタルの育成等に関する保健所の役割に関する調査研究」の実施およびソーシャル・キャピタルの育成を進める地域保健活動のあり方の提案
 国の地域保健対策基本指針に、「都道府県及び市町村は、地域保健対策を講ずる上で重要な社会資源について十分に調査し、ソーシャル・キャピタルの核となる人材の育成に努めるとともに、学校、企業等に係るソーシャル・キャピタルの積極的な活用を図る必要がある。」とされており、地域保健対策の推進に当たっては、地域の住民組織（NPO 法人含む）等の社会資源と連携、協力して住民による共助への支援を進めることや、さらに学校や企業など幅広い主体との連携を進めるなどソーシャル・キャピタルの醸成を図り、地域の社会資源との協働による健康なまちづくりをすすめることが期待されている。

このような状況の下、本委員会の構成員等で研究班を組織し、保健所がこれまで育成してきた住民組織に焦点を当て、地域におけるそれらの状況および保健所との連携、協働した事業等についての調査研究を日本公衆衛生協会の「地域保健総合推進事業」を活用して実施した。

平成 24 年 12 月、平成 25 年 1 月に研究班会議兼当委員会を開催して調査結果を検討した。また結果の一部は、平成 25 年 1 月の全国保健所長会研修会で発表した。3 月に最終報告書を取りまとめ、全国の保健所や関係者に配布した。
 今回の調査研究で全国の保健所管内における健康に係る住民組織の状況を把握することができた。それらの住民組織と保健所との関係の分析からソーシャル・キャピタルの育成を進める地域保健活動のあり方を提案した。

2. 健康危機管理に関する委員会

1) 委員会が担う役割

①健康危機管理事業その他の関連する事業と連動した健康危機管理に関する体制の検討

②保健所における健康危機管理事例の収集および検討

③全国への情報発信

④健康危機管理に関する随時の課題に対する検討

2) 委員会の構成

顧問 倉橋俊至（渋谷区）、山中朋子（青森県弘前）

委員 岸本 泰子（委員長：島根県出雲）、高野 正子（副委員長：高槻市）、山口 一郎（山形県村山）、大橋 俊子（栃木県東）、石田久美子（茨城県つくば兼常総）、小窪 和博（千葉県海匝）、大江 浩（富山県砺波）、松本 一年（愛知県一宮）、柳 尚夫（兵庫県洲本）、中瀬 克己（岡山市）、石丸 泰隆（山口県岩国兼柳井）、中里 栄介（佐賀県杵藤兼伊万里）

3) 委員会開催状況

第1回委員会

日時：平成24年6月14日（木）10：00～12：00 場所：日本公衆衛生協会

第2回委員会

日時：平成24年10月1日（月）11：00～15：00 場所：日本公衆衛生協会

第3回委員会

日時：平成25年3月5日（火）12：00～14：00 場所：都市センターホテル

4) 事業の概要

【保健所健康危機管理事例の収集と活用】

（1）保健所健康危機管理事例の収集

平成24年度の収集事例は52例と、平成23年度に比べて大幅に増加した。

重点項目を、「クドアによる食中毒」「化学物質が原因と思われる健康被害」「医療安全（医療事故）」「大規模食中毒、広域食中毒」「結核集団発生」「当初に原因不明の危機管理事例」とした。収集事例のうち訳は、食中毒37（うちクドアによる食中毒12）、感染症結核8、感染症3、災害有事2、医療安全1、生活環境安全1であった。

（2）効率的な事例収集について

効率的に事例収集できるよう、食中毒はNESFDに詳報を掲載した事例、結核集団発生事例は報告時にH-CRISISへ掲載するよう依頼した。

【クドアによる食中毒事例について】

（1）H-CRISIS掲載事例、病原微生物検出情報IASR報告事例を収集し一覧にまとめた。また、論点整理を行い、論点を5項目（国レベルで検討されるべき論点3項目、都道府県レベルで検討されるべき論点2項目）にまとめた。

（2）平成25年2月19日、厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課の課長補佐2名と論点について意見交換した。

（3）論点について、平成26年度保健所行政の施策及び予算に関する要望書へ記載することとした。

【腸管出血性大腸菌食中毒事件について】

「焼肉チェーン店で発生した生食肉による腸管出血性大腸菌食中毒事件」について、改めて課題を整理し、意見交換した。

【平成26年度保健所行政の施策及び予算に関する要望書への提言】

要望書への提言について、下記のようにまとめ提出した。

(1) クドアによる食中毒について

国レベルで検討されるべき論点3項目を要望

(2) 食中毒・感染症の広域発声事例の早期探知について

報道発表資料の一元管理等による、早期探知支援方法の確立を要望

(3) 腸管出血性大腸菌集団食中毒事件について

タイムリーな情報提供、腸管出血性大腸菌の届け出基準、HUS・脳症の緊急治療体制の3点について引き続き要望

(4) 研究班や所長会の取組のうち、当委員会に関係するものについて

- ・健康危機における保健所間の即時情報交換を可能にする web 会議システムの整備、
- ・食中毒処理要領における報告／調査項目への、広域拡大や重大事例等の可能性にかかわる項目の追加

5) 第69回全国保健所長会総会会員協議

平成24年10月23日、山口市で開催された第69回全国保健所長会総会の会員協議、テーマ「今後の保健所活動の展望～地域保健対策検討会報告を受けて～」において、委員長が「健康危機管理委員会からの提言」と題して講演した。

IV. 地域ブロック活動報告

【北海道地域ブロック】

1. 平成24年度第1回総会

日時 平成24年4月23日 15:30～17:00

場所 第2水産ビル 会議室（札幌市）

出席者：道立保健所長16名、政令市保健所長4名（欠席2名）

オブザーバー 保健福祉部荒田技監

<議事>

1) 報告事項

①平成23年度事業報告並びに決算報告について

事務局より報告があり、了承された。

②平成23年度会計監査報告について

斎藤監事より報告があった。

③全国保健所長会理事会等の報告について

○廣田会長（山本副会長代理）より地域保健対策検討会の報告があった。地域保健法の基本指針の改定が今年度早々に行われる予定。

④北海道保健所長会委員会等の報告について

○山本副会長より、業務改善についての提案について説明があった。

⑤平成23年叙勲及び表彰等の受賞状況について

○相田副会長より報告があり、叙勲について木村先生について手続き中。

⑥その他

なし。

2) 協議事項

①平成24年度事業計画（案）及び予算（案）について

事務局より説明があり、承認された。

②役員の選出について

中核市・政令市の理事は山口旭川市保健所長、山田函館市保健所長が選出された。

会長・副会長の選出には選考委員会が開催され、会長に相田帯広保健所長、副会長に山本室蘭保健所長、竹内上川保健所長、廣島俱知安保健所長が選出された。監事は留任。代議員8名が決定（俱知安、岩見沢、室蘭、上川、網走、帯広、札幌市、旭川市の各所長）された。

③その他

なし。

2. 平成24年度第1回理事会

日時：平成24年7月20日（金）13:30～16:30

場所：道庁6F保健福祉部1号会議室

出席：道立保健所理事10名、政令市保健所理事2名、
オブザーバー保健福祉部技監

<議事>

1) 報告事項

①全国保健所長会理事会等について（会長）

②各種表彰の推薦状況について：廣島副会長より報告

③各委員会からの報告について：各委員会へ出席した所長から報告

④その他：

・北海道公衆衛生学会への協賛金支出については了解が得られたので、北海道所長会として協賛金を支出する。

2) 協議事項

①各地域からの提案事項について検討

②全国保健所長会の代議士について、政令市枠は1名となっているが、柔軟に対応するために、会則に但し書きなどで対応することの検討を行う。（担当：廣島副会長）

③所長会主催研修を本年度も実施する（担当：岩田理事）

3. 「保健所地域連携検討会（北海道ブロック）」

日時：平成24年7月30日（月）～31日（火）

場所：かでの2. 7

内容：

○話題提供「地域保健の現状と話題」

講師：厚生労働省健康局がん対策・健康増進課地域保健室室長補佐 岡田就将

○講義「ICS/IAP/ACと保健所の危機対応について」

講師：全国保健所長会 会長 佐々木隆一郎

旭川市保健所 所長 山口 亮

○講義「災害医療に係る保健所の役割について」

講師：保健福祉部医療政策局医療薬務課 主幹 道場 満

討議「保健医療福祉圏域連携推進会議等の活用を視野に入れた、医療連携の推進方策について」

- 1) 報告 「全道の取り組み状況について」
- 2) 情報提供
 - ①「渡島・八雲保健所における保健医療福祉圏域連携推進会議・専門部会の実施状況」
提供者：渡島兼八雲保健所長 高垣正計
 - ②「後志圏域における医療連携」
提供者：倶知安保健所長 廣島 孝
- 3) 意見交換・発表
<講評>全国保健所長会 会長 佐々木隆一郎
一般財団法人日本公衆衛生協会 常任理事 増田 和茂
4. 平成24年度第2回総会
日時：平成24年11月1日 15:30～17:00
場所：各振興局 TV会議室
出席者：道立保健所長19名、政令市保健所長3名（欠席2名）
議事
 - 1) 報告事項
 - ①全国保健所長会総会等の報告について（会長より報告）
 - ②各種表彰・叙勲の推薦状況について（廣島副会長より報告）
 - ③会務報告（山本副会長より報告）
 - 2) 協議事項
 - ①地域からの提案事項について
矢野札幌市保健所長から「白菜きりづけ」によるO-157食中毒事件について
 - 3) その他
 - ①北海道保健所長会主催の研修について
 - ②平成25年度機構改正について
5. 平成24年度第2回理事会
日時：平成24年12月10日（金）13:30～16:30
場所：道庁6F保健福祉部1号会議室
出席：道立保健所理事9名、政令市保健所理事1名、オブザーバー保健福祉部技監
議事：
 - 1) 報告事項
 - ①全国保健所長会理事会等について（会長より報告）
 - ②会務報告（山本副会長より報告）
 - 2) 協議事項
 - ①全国保健所長会研修への参加について
 - ②地域保健総合推進事業（国際協力事業）への参加について
 - ③家畜防疫作業時における作業従事者の健康管理について
 - ④会計の取り扱いについて
 - ⑤情報の共有方法について
6. 平成24年度第3回理事会
日時：平成25年3月8日（金）13:30～16:30

場所：道庁 6 F 保健福祉部 1 号会議室

出席：道立保健所理事 10 名、政令市保健所理事 1 名、オブザーバー保健福祉部技監

議事：

1) 報告事項

- ①全国保健所長会理事会等について（会長より報告）
- ②各種表彰の推薦状況について（廣島副会長）
- ③会務報告（山本副会長より報告）
- ④各委員会からの報告について
 - 予算の執行状況（森所長より報告）
 - 北海道保健所長会研修について（岩田所長より報告）
 - 家畜防疫作業時における作業従事者の健康管理について（山本副会長より報告）

2) 協議事項

- ①ノロウイルス検査について
- ②災害時有線電話について

7. 平成 24 年度 北海道保健所長会研修

日時：平成 25 年 3 月 9 日（土）13:30～16:30

場所：北農健保会館 会議室(313)「芭蕉」

出席：保健所長等 21 人

1) WHO 本部（ジュネーブ）保健医療事情調査派遣方向

講師：大原名寄保健所長

2) 全国保健所長会研修会報告

講師：齊藤富良野保健所長

中村 苫小牧保健所長

3) 成年後見制度と権利擁護について

講師：佐久間浦河・静内保健所長

4) 登別・室蘭大停電について

講師：山本室蘭保健所長

【東北地域ブロック】

1. 第 1 回理事会

日 時 平成 24 年 5 月 24 日（木）14:00～14:50

会 場 秋田市 秋田キャッスルホテル

出席者 11 名（欠席 2 名）

会長遠藤幸男（福島県北保健所長）を議長に選出し、次の事項について協議した。

1) 平成 24 年度総会の運営について

総会に提案する議案について審議し原案どおり承認された。

2) 報告事項

①東北地区保健所長会の役員について

会長・副会長・監事は、平成 23 年度第 2 回理事会において決定されていること、及び定期人事異動による理事の変更について、会長遠藤幸男から説明がなされた。

役員体制については、提案された名簿どおり総会に報告することとされた。

②全国保健所長会の役員について

役員については、平成23年度第2回理事会において決定されていることから提案された名簿どおり総会に報告することとされた。

3) その他

①平成25年度の総会日程の時期について

例年通り5月第4週木、金の予定とし、詳細は第2回理事会で決定することとされた。

②東北ブロック地域保健推進戦略会議について

来年度以降は例年通りの開催予定とした。東北独自のテーマと全国統一のテーマをどう企画していくか工夫が必要との意見もあり、日程スケジュール等検討してゆくこととされた。

2. 総会

日 時 平成24年5月24日(木) 15:00～16:30

会 場 秋田市 秋田キャッスルホテル

出席者 17名、委任状23名

来賓祝辞 秋田県健康福祉部 山本要次長

1) 報告事項

①東北地区保健所長会の役員について

規約第5条に基づき、定期人事異動により変更された役員名簿及び全国保健所長会の役員名簿について報告。

2) 議事

開催地会員である、小椋真吾秋田県保健所長会長を議長に選出して議事が進められ、

①～③の議案がいずれも原案どおり承認された。

①平成23年度事業報告並びに収支決算及び監査報告について

②平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

③平成24年度理事会及び総会の開催(案)について

3. 「東北ブロック地域保健研究会」

日 時 平成24年5月25日(金) 9:20～15:00

会 場 秋田市 秋田キャッスルホテル

参加者 30名

目 的：東日本大震災1年経過し、東北ブロックとして、復興期において仮設住宅等で生活する被災者への支援状況、解決すべき課題とともに、今後の対策を検討する。

(講演)「東日本大震災復興期における保健所の被災者への支援のあり方」

講師 金谷 泰宏 国立保健医療科学院 健康危機管理研究部長

座長 大熊 恒郎 仙台市青葉保健所長

宮川 隆美 青森県八戸兼東地方保健所長

(パネルディスカッション)

○話題提供 東日本大震災復興期の被災者支援の状況と課題、今後の対応
～東北の各保健所の立場から～

①「岩手県の保健所の立場から」 鈴木 宏俊 (岩手県釜石兼大船渡保健所長)

- ②「宮城県の保健所の立場から」 鹿野 和男（宮城県塩釜保健所長）
- ③「仙台市の保健所の立場から」 大金 由夫（仙台市若林保健所管理課長）
- ④「福島県の保健所の立場から」 新家 利一（福島県いわき市保健所長）
- ⑤「青森県の保健所の立場から」 工藤 淳子（青森県上十三保健所長）
- ⑥「秋田県の保健所の立場から」 伊藤 善信（秋田県横手兼湯沢保健所長）
- ⑦「山形県の保健所の立場から」 山田 敬子（山形県置賜保健所長）

座長 菅原 智 岩手県県央保健所長
山口一郎 山形県村山保健所長

助言者 金谷泰宏 国立保健医療科学院 危機管理研究部長

（グループワーク・発表・総括）

- ・「被災者支援調整会議」の立ち上げ、運営（県・市町村・NPOなどの連携）が必要。
- ・保健所のスタッフをテーマ別あるいは地区別にリーダー、サブリーダーを決めて配置し、きめ細かく対応してゆく。
- ・仮設住宅等の入所者の情報収集が必要。行政・民間を含め、縦割りの弊害をなくし有効な情報で実態の把握と地域の実情に応じたニーズの把握をしてゆく。
- ・「新しいコミュニティーづくり」に取り組む必要性。保健所も関わり仮設住宅後の生活も考えていく時期。
- ・声をださない人に支援が届きにくい、孤立化・孤独化の防止。

4. 「保健所地域連携検討会（東北ブロック）」

日 時：平成 24 年 12 月 8 日（土）10:00～16:00

場 所：仙台ガーデンパレス

内 容：

○話題提供「地域保健の現状と課題」

講師：厚生労働省健康局がん対策・健康増進課地域保健室室長補佐 岡田就将

○講義「日本版 ICS/IAP/AC および保健所機能の支援の考え方、役割について」

講師：岡山保健所長 中瀬克己

○「グループディスカッション」

○講義「東日本大震災復興期における保健所の被災者への支援のあり方～福島県における心のケアサポート～」

講師：福島県立医科大学看護学部家庭看護学部門 准教授 大川 貴子

上記の開催予定としていたが、前日の12月7日夕方発生した地震（三陸沖最大震度青森県八戸市震度5弱）の影響を考慮し中止とした。

5. 第2回理事会

日 時 平成 25 年 2 月 7 日（木）15:30～17:00

会 場 盛岡市 ホテルルイズ

出席者 10 名（欠席 3 名）

来賓祝辞 岩手県保健福祉部長 小田島部長

会長遠藤幸男（福島県県北保健所長）を議長に選出し、次の事項について協議した。

- ①平成 24 年度事業報告並びに収支決算（見込み）について
- ②平成 25 年度事業計画並びに収支予算（案）について

- ③平成25年度理事会及び総会の開催（案）について
- ④東北地区保健所長会の役員改選について
- ⑤平成25年度東北ブロック保健所連携推進会議（地域保健研究会）の協議議題について
- ⑥各県市からの提出議題について

①～③原案どおり承認された。④監事選出県を決定した。会長・副会長は人事異動も踏まえ次回理事会で決定することとした。⑤テーマとして「感染症対策」と「ICS/IAP/ACあるいは地域防災計画における災害支援時の保健所の役割」の提案について協議した。全国のテーマと東北独自テーマとしての自然災害及び感染症を踏まえて検討していくこととした。⑥提案1件「保健所長・公衆衛生医師の確保」について、提案県の説明の後に協議した。

【関東甲信越静地域ブロック】

1. 総会

日時：平成24年7月6日（金）13：30～15：00

場所：山梨県笛吹市 ホテルやまなみ 2階「アルプス」

出席者：新潟県2人、茨城県2人、栃木県0人、群馬県3人、埼玉県2人、千葉県7人、神奈川県3人、川崎市2人、山梨県3人、長野県5人、静岡県3人。

会員出席者 計32人

委任状：70人

出席者＋委任状 合計102人/118保健所

1) 総会成立確認、開会挨拶

関東甲信越静ブロック保健所長会会長 古屋好美（山梨県保健所長会会長、中北保健所長）

2) 来賓祝辞：三枝 幹男（山梨県福祉保健部長）

3) 議事 議長：山梨県保健所長会会長 古屋好美

(1) 平成23年度収支決算及び平成24年度収支予算（案）について：資料に基づき、事務局より説明後、全会一致で了承された。

(2) 提案議案

①地域内院内感染における保健所の役割と専門家による支援について（山梨県提案）

②保健所がさまざまな関わりを通じて健康づくり施策を実施した具体例について（山梨県提案）

③近年発生している地震や水害等の自然災害に備えて、関東甲信越静ブロック内での保健所相互支援体制の構築について（静岡県提案）

④保健所の放射線業務の現状と今後の方向性について（埼玉県提案）

3) 次期開催について：川崎市

4) 報告事項

①ブロック選出理事について

古屋好美（山梨県中北保健所）、岩間真人（静岡県御殿場保健所）

大塚悟郎（川崎市高津保健所）

②第69回全国保健所長会案内

5) その他

6) 閉会挨拶：山梨県保健所長会 藤井充（山梨県峡東保健所長）

2. 研修会（総会に引き続き 15 時 10 分～17 時）

参加者は、ブロック会員の他に、山梨県福祉保健部等職員 22 人

講演 演題：「健康・地域づくりにおける保健所の役割（情報の利活用を中心に）
－健康寿命日本一を生む山梨の環境と社会－」

講師：山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座教授 山縣然太郎 先生

3. 保健所地域連携検討会

日時：平成 24 年 11 月 9 日（金）10：00～16：30

場所：川崎市中原市民館

参加者：45 名

1) テーマ ① 災害時における保健所の地域保健に関する調整機能強化について

② 各保健所・保健所間で平時に実施すべき調整について

2) 趣旨：東日本大震災を経て災害時保健医療に関わる種々の課題が表出し、保健所には災害時の地域保健医療に係る調整機能や平時からの関係機関との連携及び危機管理体制強化が求められる。このため、多田羅班で開発した日本版標準 ICS/IAP/AC（インシデント・コマンド・システム/インシデント・アクション・プラン/アクション・カード）について、関東甲信越ブロック保健所長会の会員がこれを理解し活用できる準備状態とすること、また、会員の保健所が平時に必要な具体的連携及び保健所における体制構築を実現できる準備状態とすることを目的として、保健所地域連携検討会を企画した。

3) プログラム

(1) 主催者挨拶：(財) 日本公衆衛生協会

(2) 検討会趣旨説明：全国保健所長会会長

(3) 話題提供「地域保健の現状と課題」：岡田就将 厚生労働省健康局がん対策・健康増進課地域保健室室長補佐（座長 岩間真人 静岡県御殿場保健所長）

(4) 講義テーマ①-1「東日本大震災の教訓を生かした南海地震対策の取組み」：田上豊資 高知県中央東福祉保健所長（座長 大塚吾郎 川崎市高津保健所長、藤井充 山梨県峡東保健所長）

講義テーマ①-2「日本版 ICS/IAP/AC、初期アセスメント及び保健所機能の支援の考え方、役割について」 古屋好美 山梨県中北保健所長

(5) グループディスカッション①「あなたの地域で大震災などの災害が発生した際、保健所に期待される役割（あるべき姿）は何ですか。」

(6) 話題提供テーマ②「東日本大震災、竜巻を振り返って保健所の役割を考える」：石田久美子 茨城県つくば保健所長（座長 古屋好美 山梨県中北保健所長）

(7) グループディスカッション②「大規模災害時に保健所として期待される役割・機能を果たすため何をすべきですか。」

(8) 総括：全国保健所長会会長

4) まとめ：ディスカッションの進め方の配布及び「事前アンケート」集計結果説明の後、ディスカッションを行い、被災地の保健所としての果たすべき役割・機能とそれを実現する

ための具体策について建設的な議論と結果を得た。地域で顔の見える関係構築、実効性ある訓練、地域特性に応じたマニュアル、アクション・カード、備品や医療のマップ化等の意見が集約された。総括として、今後は具体的に始める項目整理、平時からの具体的な連携の検討、実現のための組織・仕組みの検討に入ることが挙げられた。検討会直後の参加者アンケートでは、保健所の役割・機能への理解・今後の取組に対する意識とも概ね良好だったが、ICSについては17%が「どちらかという理解できなかった」と回答しており、すべての保健所に浸透させるには継続的な研修等が必要と思われた。

4. 会長等会議

日時：平成25年3月5日（火）13：30～14：30

場所：都道府県会館13階 山梨県東京事務所会議室

出席者：会員7名、事務局3名

議事

- 1) 平成24年度事業報告（案）及び平成24年度収支決算報告（案）について
- 2) 平成25年度事業計画（案）及び平成25年度収支予算（案）について
- 3) 新年度の役員について：川崎市、山梨県、群馬県
- 4) 提案議題：大規模災害時における保健所の迅速評価及び調整機能強化について
（山梨県提案）

保健所地域連携検討会の結果を踏まえて今後の対応について検討した。平成25年度も継続して検討する。

- 5) その他

【東京地域ブロック】（会員数 計31人：特別区23人、東京都6人、八王子市1人、町田市1人）

1. 年次総会

1) 日時・会場：平成24年4月19日（木）於区政会館

2) 出席者：出席21人、委任状7人

3) 議事

- (1) 平成23年度事業報告：承認
- (2) 平成23年度決算報告、会見監査報告：承認
- (3) 平成24年度事業計画：承認
- (4) 平成24年度予算：承認
- (5) 東京保健所長会会則改正：承認
- (6) 役員選出

会長 金田（荒川区）

副会長 大黒（多摩立川）

庶務幹事 福内（新宿区）、早川（多摩小平）

会計 矢内（台東）、田原（多摩府中）

監事 浦山（江東区）、赤穂（南多摩）

4) 新会員紹介

木村（千代田区）、矢野（品川区）、上田（目黒区）、山川（中野区）、石原（池袋）、中橋（墨田区）

2. 研修会

1) 講演会

日 時：平成 24 年 4 月 19 日（木）於区政会館

演 題：医療保険制度 50 周年の節目点検

講 師：東京大学大学院「医学系研究科公共健康医学先行臨床疫学経済学分野教授 橋本 英樹氏

参加者：会員 24 人、その他 6 人 計 30 人

2) 平成 24 年度保健所地域連携検討会

テーマ：① 災害時における保健所の地域保健の調整機能強化について

② 健康危機管理体制における連携、その他喫緊で重大な健康課題について

日 時：平成 24 年 8 月 22 日（木）午後 10 時から午後 5 時まで

場 所：都市センターホテル

参加者：会員 16 人、その他 14 人、計 30 人

3. 懇親会

日 時：平成 24 年 5 月 17 日（木）午後 7 時より 9 時まで

場 所：小田急ホテルセンチュリーサザンタワー 21 階 イーストルーム

参加者：保健所長 24 人、退職保健所長 5 人、来賓 11 人、計 40 人

退職者：長野 みさ子（前多摩府中保健所長）

東海林 文夫（前中央区保健所長）

吉村 伸子（前目黒区保健所長）

村主 千明（前池袋保健所長）

稲垣 智一（前墨田区保健所長）

新会員：木村 博子（千代田区）、矢野 久子（品川区）、上田 隆（目黒区）

山川 博之（中野区）、石原 啓（池袋）、中橋 猛（墨田区）

【東海北陸地域ブロック】

1. 第 1 回役員会

日 時 平成 24 年 5 月 25 日（金）13：30～15：30

場 所 岐阜県岐阜市 ハートフルスクエア G 2 階 中研修室

議 題

- 1) 平成 24 年度東海北陸ブロック保健所長会役員について
- 2) 平成 24 年度東海北陸ブロック保健所長会総会について
- 3) 全国保健所長会からの情報について
- 4) 地域保健推進検討会について
- 5) その他（所長の医師資格要件関連について等）

2. 第 2 回役員会

日 時 平成 24 年 7 月 27 日（金）11：30～12：30

場 所 岐阜県岐阜市 ホテル グランヴェール岐山

議 題

- 1) 平成 24 年度東海北陸ブロック保健所長会総会等について

2) その他

3. 総会

日 時 平成 25 年 7 月 27 日 (金) 13 : 00~13 : 25

場 所 岐阜県岐阜市 ホテル グランヴェール岐山

議 題

- 1) 平成 23 年度東海北陸ブロック保健所長会事業報告について
- 2) 平成 24 年度東海北陸ブロック保健所長会事業計画 (案) について
- 3) その他 (全国保健所長会理事会報告等)

4. 保健所地域連携検討会

日 時 平成 24 年 7 月 27 日 (金) 13 : 30~17 : 25

場 所 岐阜県岐阜市 ホテル グランヴェール岐山

内 容

1) 講演 I : 「地域保健の現状と課題」

講師 厚生労働省健康局がん対策・健康増進課地域保健室 課長補佐 岡田 就将

座長 岐阜県岐阜保健所長 竹腰知治

2) 講演 II : 「日本版 ICS / IAP / A および保健所機能の支援の考え方、役割について」

講師 全国保健所長会 会長 佐々木隆一郎

愛知県一宮保健所長 松本 一年

座長 岐阜市保健所長 中村 俊之

3) 事例発表 : 「岐阜県災害医療コーディネート体制」

講師 岐阜県飛騨保健所長 杉山 貴広

座長 岐阜県東濃保健所長 木戸内 清

4) グループディスカッション

全参加者を 6 グループに分け、日本版 ICS / IAP / AC、他自治体からの保健所機能の支援及び岐阜県災害医療コーディネート体制等について、具体的な対策について検討し共有する。

コーディネーター 岐阜県健康福祉部次長 日置 敦己

5) 総括

一般財団法人 日本公衆衛生協会 常任理事 増田 和茂

全国保健所長会 会長 佐々木隆一郎

5. 第 3 回役員会

日 時 平成 25 年 2 月 22 日 (金) 13 : 00~15 : 00

場 所 愛知県名古屋市 レセプションハウス 名古屋通信会館

議 題

- 1) 平成 24 年度東海北陸ブロック保健所長会の事業報告・決算について
- 2) 平成 25 年度東海北陸ブロック保健所長会の事業計画 (案) について
- 3) 平成 25 年度東海北陸ブロック保健所長会の総会開催 (案) について
- 4) 全国保健所長会理事会の報告について
- 5) その他

【近畿地域ブロック】

1. 第1回役員会

日時：平成24年4月13日（金）

場所：大阪市保健所

議事：

- 1) 第64回近畿保健所長会総会について
- 2) 役員の交替について
- 3) その他

2. 第64回近畿保健所長会総会

日時：平成24年5月29日（火）13：00～16：30

場所：兵庫県立淡路夢舞台国際会議場

内容：

- 1) 表彰（平成23年5月13日開催の第50回日本公衆衛生学会近畿地方会演題より選考）
 - ◆「うつ病者家族教室」参加者のストレス源をめぐる一考察
～家族教室のあり方にむけて～（大阪市こころの健康センター）
 - ◆岸和田保健所管内における妊娠中の喫煙と低体重児出産リスクの検討
（大阪府岸和田保健所）
 - ◆御坊保健所管内におけるインフルエンザ流行状況等について
～インフルエンザに関するアンケート調査から～（和歌山県御坊保健所）

2) 議事1

- ・平成23年度事業報告及び収支決算報告について
- ・監査報告について
- ・平成24年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- ・役員の交替について（報告）

3) 議事2 提案議題

- ・保健所における災害医療マニュアル策定について
（兵庫県加東保健所）
- ・QFT検査の有効活用と潜在性結核感染症の取扱いについて
（滋賀県草津保健所）

3. 第2回役員会

日時：平成24年11月30日（金）

場所：京都市 京都平安ホテル

議事：

- 1) 平成25年度表彰論文の審査について
- 2) その他

4. 平成24年度近畿保健所長会連絡協議会（保健所地域連携検討会〔近畿ブロック〕）

日時：平成24年11月30日（金）10：00～17：30

場所：京都市 京都平安ホテル

内容：

- 1) 講演1：「地域保健の現状と課題」 *災害対策基本法の改正や厚労省としての法改正について

講師 厚生労働省健康局がん対策・健康増進課地域保健室室長補佐 岡田 就将
ディスカッション 座長 大阪府枚方保健所長 笹井 康典

2) 講演2:「災害対策基本法と地域防災対策」災害対策基本法と自治体衛生部局・保健所への期待
講師 京都市行財政局防災危機管理室長(消防正監) 下遠 秀樹

特別発言:「地域防災対策と保健所」

発言者 和歌山県御坊保健所長 野尻 孝子

ディスカッション 座長 兵庫県龍野保健所長 大橋 秀隆

3) 講演3:「保健所における危機時対応システムおよび保健所機能の考え方、役割について」

講師:高知県中央東福祉保健所長 田上 豊資

岡山市保健所長 中瀬 克己

ディスカッション 座長 兵庫県洲本健康福祉事務所長 柳 尚夫

4) グループディスカッション

テーマ:「保健所における危機時対応システム(日本版標準 ICS/IAP/AC)および保健所機能について」

(討論参加):高知県中央東福祉保健所長 田上 豊資

岡山市保健所長 中瀬 克己

長野県飯田保健所長 佐々木 隆一郎

(コーディネーター) 神戸市保健所長 伊地智 昭浩

奈良県郡山保健所長 山田 全啓

5) 講演4:「これからの保健所に期待して」

講師:愛媛大学医学部付属病院准教授 櫃本 真事

ディスカッション 座長 京都市保健所長 土井 渉

6) 総括

一般財団法人 日本公衆衛生協会会長 多田羅 浩三

全国保健所長会 会長 佐々木 隆一郎

5. 第3回役員会

日時:平成25年2月26日(火)

場所:大阪市 大阪市保健所

議事:

- 1) 第65回近畿保健所長会総会について
- 2) 平成24年度決算見込み及び平成25年度予算編成について
- 3) その他

【中国・四国地域ブロック】

1. 第1回中四国ブロック保健所長会理事会

日時:平成24年6月29日(金) 14:00~16:30

場所:岡山県岡山市 サン・ピーチ OKAYAMA

出席者:9名(理事8名、オブザーバー1名)

議題:

- 1) 中四国ブロック保健所長会総会(平成24年9月8日岡山市開催)の運営について

- ・平成 23 年度事業報告について
 - ・平成 23 年度収支決算状況報告について
 - ・平成 24 年度事業計画案について
 - ・平成 24 年度予算案について
 - ・当日の運営及び会計監査について
- 2) 地域保健総合推進事業保健所地域連携検討会の運営について
- ・テーマの決定と話題提供者への依頼
 テーマを、「災害時における保健所の地域保健の調整機能の初期アセスメントを含めた強化について」とすることとした。
 - ・役割分担と運営

- 3) 各県の災害対応について
 情報交換と意見交換を行った。

2. 中四国ブロック保健所長会総会

日 時：平成 24 年 9 月 6 日（木）13：00～13：45

場 所：メルパルク岡山（岡山県）

出席者：25 名（委任状 26 名）

議 題：

- ①平成 23 年度事業報告及び収支決算について
- ②平成 24 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- ③次期開催県あいさつ（香川県）

3. 中四国ブロック保健所地域連携検討会

日 時：平成 24 年 9 月 6 日（木）14：00～平成 24 年 9 月 7 日（金）12：00

場 所：メルパルク岡山（岡山県）

出席者：61 名

全体テーマ「災害時における保健所の地域保健の調整機能の初期アセスメントを含めた強化について」

内 容：

講演「地域保健の現状と課題」

講師：厚生労働省健康局がん対策・健康増進課地域保健室室長補佐 岡田 就将

テーマ 1 「大規模災害発生時の保健所機能・役割について」

講演「日本版 ICS/IAP/AP および保健所機能の支援の考え方、役割について」

健康危機管理のフレームを考える ICS/IAP と初期評価の概要

岡山市保健所長 中瀬 克己

話題提供 1 「東日本大震災の教訓を生かした南海地震対策の取組み」

高知県中央東福祉保健所長 田上 豊資

コーディネーター

高知県安芸福祉保健所長 鈴木 順一郎

鳥取県鳥取保健所長 長井 大

グループワーク

テーマ2「大規模災害発生に備えた地域の関係機関との連携体制づくりについて」

話題提供2「大分県における災害時公衆衛生機能の強化に向けた取り組み」

大分県中部保健所長 藤内 修二

コーディネーター

愛媛県中予保健所長 竹ノ内 直人

香川県中讃保健所長 高橋 珠子

グループワーク

総括：日本公衆衛生協会会長 多田羅浩三

全国保健所長会会長 佐々木隆一郎

4. 第2回中四国ブロック保健所長会理事会

日時：平成24年2月10日(金)14:30～17:00

場所：岡山県岡山市 サン・ピーチOKAYAMA

出席者：9名（理事8名、オブザーバー1名）

議題：

1) 地域保健推進検討会について

(1) 中四国ブロック地域保健連携推進検討会開催結果について

開催県である岡山県から「GWのまとめ」について報告があった

(2) 中四国ブロック保健所長会としての、地域保健推進検討後の取り組みについて

- ・岡山県所長会が、各県の「保健所災害対応マニュアル」の策定状況調査を実施
- ・徳島県の「介護福祉コーディネーター」の役割と課題について意見交換
- ・各県保健所長会の取り組みについて意見交換
- ・各県の保健医療計画「災害医療」のとりまとめ

2) 中四国ブロック保健所長会の運営について

- (1) 平成24年度中四国ブロック保健所長会事業実施中間報告ならびに収支決算報告
- (2) 平成25年度中四国ブロック保健所長会事業計画（案）ならびに収支予算（案）

3) 平成26年度中四国ブロック保健所長会について

日時：平成25年9月5日（地域連携検討会議は9月5日・6日）

場所：香川県高松市

【九州地域ブロック】

1. 第1回理事会（熊本県）

日時 平成24年7月12日（木）12:30～13:20

場所 KKRホテル熊本（熊本市）

出席者 理事9名、監事1名

議事

1) 報告事項

① ブロック会長の変更

会長に宇田理事（鹿児島県保健所長会会長）が就任

② 全国保健所長会理事の変更

全国保健所長会理事 2 名に宮崎県の藤崎理事と福岡県の宮崎理事が就任

③ 監事の変更

監事 2 名に熊本県水俣保健所の木脇所長と大分県中部保健所の藤内所長が就任

④ 理事の変更等（熊本市が新たに就任したほか、3 名の理事が変更）

北九州市 吉本理事、熊本県 水野理事、熊本市 大塚理事、沖縄県 伊禮理事

2) 議 題

① 平成 23 年度事業報告及び決算案、監査報告

鹿児島市で 7 月 14 日～15 日の 2 日間、第 1 回理事会・総会・意見交換会を開催し、福岡市で第 2 回理事会を開催（1 月 19 日）した。

② 平成 24 年度事業計画及び予算案

理事会は、2 回開催予定（熊本県・佐賀県（開催場所は福岡市））

総会・研修会は、熊本県で開催予定

③ 各県・市の提出議題について

④ 今後の事業方針について

⑤ 平成 25・26 年度の総会・理事会の開催地について

平成 25 年度第 1 回理事会・総会は沖縄県、第 2 回理事会は宮崎県に決定

平成 26 年度第 1 回理事会・総会は福岡県、第 2 回理事会は福岡市を予定

⑥ ブロック会長と全国理事の持ち回りについて

全国理事については、平成 24 年度・25 年度はローテーション等により、宮崎県、福岡県が就任。福岡県を繰り上げたことから、26 年度以降は繰り上げることを確認し、26・27 年度は沖縄県と佐賀県の就任を予定

⑦ その他

総会で全国保健所長会理事会の報告及び公衆衛生若手医師・医学生サマーセミナーの紹介を行いたい旨を議長から説明

2)⑥について、理事会で承認

2. 総 会

日 時 平成 24 年 7 月 12 日（木）14:00～17:00

場 所 KKR ホテル熊本（熊本市）

出席者 22 名（欠席 48 名のうち委任状 43 名により総会成立）

議 事

1) 議 題

① 平成 23 年度事業報告及び決算案、監査報告

② 平成 24 年度事業計画及び予算案

③ 各県・市の提出議題について（議題 7 件）

- ・ 医療安全支援センターについて
- ・ 精神保健福祉法に係る身体合併症を有する患者の入院医療機関の確保について
- ・ 精神保健指定医が参加する会議の開催状況について
- ・ 災害派遣としての保健活動・こころのケアチーム等諸活動に必要な携行通信機器等の内容について

- ・ 今年度策定の医療計画への保健所の関与について
 - ・ 医療連携体制構築の取組状況について
 - ・ 地域精神保健医療における入院制度等について
 - ④ 今後の事業方針について
 - ⑤ 平成 25・26 年度の総会・理事会の開催地について
 - ・ ローテーションを再確認し、平成 25 年度開催地の沖縄県及び宮崎県を決定。
 - ・ 平成 26 年度開催地の福岡県及び福岡市を了承
 - ⑥ ブロック会長と全国理事の持ち回りについて
 - ⑦ その他
 - ・ 宇田会長から第 1 回全国保健所長会理事会報告及び公衆衛生若手医師・医学生サマーセミナーの紹介
- ①②⑤⑥については、協議どおり承認された。

3. 研修会

日 時 平成 24 年 7 月 13 日（金）9:20～12:00

場 所 KKR ホテル熊本（熊本市）

内容等

- ・ 挨拶 熊本県保健所長会会長 水野 秀夫
- ・ 講演 1 「加藤・細川の歴史と熊本」
講師 熊本大学文学部附属永青文庫研究センター教授 稲葉 継陽
- ・ 講演 2 「ハンセン病の現在，そして熊本」
講師 熊本保健科学大学学長 小野 友道

4. 平成 24 年度「保健所地域連携検討会（九州ブロック）」

日 時 平成 24 年 9 月 26 日（水）10:00～17:00

場 所 パピヨン 2 4 12 号会議室（福岡市博多区千代一丁目 17-1）

テーマ 災害時における保健所の地域保健調整機能強化について

参加者 40 名

内容等

① 話題提供

「地域保健の現状と課題」

講師：厚生労働省健康局がん対策課・健康増進課地域保健室
室長補佐 岡田 就将

質疑・ディスカッション

座長：福岡市東保健所長 竹中 章

② 講義 1

「災害時における保健所の役割－『できること』と『できないこと』」

講師：救急救命九州研究所 教授 郡山 和明

座長：大牟田市保健所長 西岡 和男

講義 2

「日本版 ICS/IAP/AC および保健所機能の支援の考え方，役割について」

講師：全国保健所長会会長（長野県飯田保健所長） 佐々木隆一郎

講義 3

「大分県の災害時の保健所機能の強化に向けた取り組み」

講師：大分県中部保健所長 藤内 修二

座長：福岡県田川保健所長 佐野 正

③ グループディスカッション～各グループからの発表～総括

5. 第2回理事会(福岡県)

日時 平成25年1月17日(木)14:00～17:20

場所 ホテル レガロ福岡(福岡市)

出席者 理事11名

議事

1) 議題

① 各県・市の提出議題について

② 平成25年度総会・理事会の開催予定について

③ 平成25年度の役員について

任期満了により、監事1名が3月末で交代。後任は沖縄県保健所長会からの推薦に依ることとされた。

④ その他

- ・ 平成24年度九州ブロック保健所長会決算見込みについて
- ・ 九州ブロック保健所長会会費納入状況について
- ・ WHO本部保健医療事情調査派遣者決定
- ・ 全国保健所長会研修会
- ・ 「認知症患者のための医療と地域ケアとの連携フォーラム」について
- ・ 平成26年度保健所行政の施策及び予算要望について
- ・ 平成25年度保健所地域連携検討会(九州ブロック)について
- ・ ノロウイルスによる院内集団感染について

【指定都市部会】

1. 第69回全国保健所長会指定都市部会保健所長会

日時：平成24年8月2日(木)・8月3日(金)

場所：「ラフレさいたま」(さいたま市)

出席者：20都市(25保健所長)

議事

1) 議題：

- (1) 地域保健活動の指定都市での実現の課題
- (2) 食品中の放射性物資の検査実施体制について

2) 承り事項：

- (1) 結核患者収容モデル病床の稼働状況について
- (2) 「国民健康・栄養調査」における市単位でのデータの活用について
- (3) 公衆衛生医師・歯科医師の配置状況について(役職、担当部署等)

- (4) 地域保健、特に保健所の枠組みについて
- (5) 障害者虐待防止に係る保健所の役割について
- (6) 保健所の機構について
- (7) 難病対策事業について
- (8) 個人墓地における墓地台帳の管理について
- (9) 家庭用品および健康食品の買上げ方法について
- (10) 保健所災害対応マニュアルについて

【特別区部会】(会員数 特別区23人)

1. 年次総会

1) 日時・会場：平成24年4月19日(木) 於区政会館

2) 出席者15人 委任状5人

3) 議事

(1) 平成23年度事業報告 承認

(2) 平成24年度事業計画 承認

(3) 役員選出

会長 金田(荒川区)

副会長 倉橋(渋谷区)

ブロック幹事：①福内(新宿区) ②矢内(台東) ③倉橋(渋谷区) ④原田(板橋区)

⑤浦山(江東区)

全国保健所長会代議員 金田、倉橋、浦山、矢内、福内

2. 定例会

定例開催：特別区保健衛生主管部長会終了後

4月12日 区政会館

① 総会について

② 懇親会について

③ 東京都主催各種委員会の推薦依頼について

④ 東京食品販売国民健康保険組合 保健事業委員会委員の推薦依頼について

5月10日 区政会館

① 全国保健所長会会長表彰、名誉会員推薦について

・保健所長会会長表彰候補者は、江東区、台東区から出す。

・名誉会員には村主前池袋保健所長を推薦する

② 東京保健所長会専門部会について

③ 東京保健所長会懇親会について

④ 「特別区における巡回診療及び巡回健診の医療法上の取り扱い要領」について

・次回(6月6日)所長会において、昨年の経過を、生活衛生課長会幹事長目黒区松原課長より説明してもらう

・東京都側から成田医療安全課長に同席してもらい、現状について共通認識をもつ

6月6日 区政会館

① 全国保健所長会会長表彰 候補者推薦について

- ・江東区保健所 田尻 由紀氏（保健師）、台東保健所 金谷 富美氏（検査技術）
- ② 全国保健所長会 名誉会員推薦について
 - ・前池袋保健所長 村主 千明
- ③ 公衆衛生協会主催 平成24年度東京ブロック「保健所地域連携検討会」について
 - ・日程とテーマについて
- ④ 全国保健所長会総会について
 - ・日時と場所について
- ⑤ 特別区における巡回診療・巡回健診について
 - ・特別区生活衛生課長会幹事長より経過説明
 - ・東京都桜山技監と成田医療安全課長同席の上協議

7月5日 区政会館

- ① 大田区永井所長からの報告事項
 - ・NICU退院支援体制検討会、「NICU退院支援手帳（のびのび）」の配布について
 - ・第1回東京都在宅療養推進会議について
- ② 台東区矢内所長より
 - ・8月22日開催予定の平成24年度東京ブロック「保健所地域連携検討会」について
 - ・平成24年度東京保健所長会懇親会会計報告について
- ③ 全国保健所長会平成25年度「保健所行政の施策に及び予算に関する要望書」について
- ④ 「公衆衛生若手医師・医学生サマーセミナー（PHSS）」の開催について
- ⑤ 練馬区細川所長より
 - ・外国人登録法から住民基本台帳法に移行することによる、理容・美容師法での取り扱いについて（情報提供）

8月2日 東京都健康安全研究センター

- ① 8月22日開催の平成24年度東京ブロック保健所地域連携検討会について

【政令市部会】

1. 部会構成員（平成24年4月1日現在）
 - ・中核市 41市、政令市 8市 ※豊中市が新規加入、熊本市が政令指定都市に移行
 - ・保健所数 49（各市1保健所）
2. 活動報告（平成24年4月1日～平成25年3月31日）
 - 1) 総会
 - 日時：平成24年10月22日（月） 10:00～12:00
 - 会場：下関グランドホテル
 - 出席者：40人（来賓 全国保健所長会会長）
 - 議事：
 - 協議事項
 - (1) 平成25年度役員及び理事の選出について
 - 会長（長崎）、副会長（柏、四日市）、各ブロック幹事（旭川、秋田、柏、富山、奈良、高松、長崎）、全国保健所長会理事（長崎、柏）を選出
 - (2) 会員提案議題について

- 議題 1 食中毒事案に対する対応について
- 議題 2 所有者の判明しないねこへの対策について
- 議題 3 災害時における被災動物（犬・ねこ）対応に関する体制づくりについて
- 議題 4 自殺予防対策について
- 議題 5 地域保健医療計画の取り組みについて
- 議題 6 中核市における医療政策業務を担当する部署の有無について
- 議題 7 市民全体に係る健康診査及びがん検診の受診率の把握について

(3) 連絡事項

- ・平成 25 年度総会開催予定

2) 政令市保健所間における調査等の実施

- 1 保健所の組織（体制）・薬局許認可業務に係る薬事監視等について（西宮市）
- 2 食品衛生検査施設の設備及び職員の配置について（船橋市）
- 3 歯科技工所の開設届出に関する証明書等の交付について（宇都宮市）
- 4 浴槽水等のレジオネラ属菌の検査法等について（西宮市）
- 5 違法ドラッグ（いわゆる脱法ドラッグ）対策について（町田市）
- 6 化学物質対策に係る取組みについて（大津市）
- 7 市以外の所有者のある複合施設について（鹿児島市）
- 8 AED 貸付事業について（青森市）
- 9 個別健康診査委託料について（宇都宮市）
- 10 無届で廃止された施術所等の取扱いについて（長野市）
- 11 精神保健担当業務について（宇都宮市）
- 12 薬局許認可業務について（長崎市）
- 13 薬事関係台帳システムについて（豊橋市）
- 14 医療法改正に伴う条例整備について（金沢市）
- 15 第 2 期食育推進計画の策定状況および目標値について（大分市）
- 16 高齢者結核患者の「退院させることができる基準」における退院後のデイサービス等の施設利用等について（金沢市）
- 17 漬物製造業の許可等について（富山市）
- 18 救急医療体制について（鹿児島市）
- 19 病院開設許可等事務の実施状況について（宇都宮市）
- 20 保健所の夜間警備・時間外案内について（大牟田市）
- 21 新型インフルエンザ等対策特別措置法にかかる市町村対策本部条例について
(鹿児島市)
- 22 結核患者訪問服薬確認業務について（函館市）
- 23 看護師等養成所に係る補助金の交付状況について（松山市）
- 24 子ども担当部局等新たな組織改編について（高知市）
- 25 公的病院（公立病院を除く）に対する施設整備、設備整備に対する補助について
(長野市)
- 26 公衆浴場（普通浴場）廃業による入浴困難者への救済措置等について（函館市）
- 27 上水道給水区域外の地域等の「水道施設」に対する補助制度について（長野市）

- 28 保健・医療関係機関との災害時協定の締結状況について（いわき市）
- 29 狂犬病予防集合注射の会場について（宇都宮市）
- 30 保健所業務の共同処理について（函館市）
- 31 公的病院に対する補助金等の有無について（長崎市）
- 32 特定建築物について（宮崎市）
- 33 保健所運営協議会について（大牟田市）
- 34 新型インフルエンザ等対策特別措置法にかかる市町村対策本部条例について（2回目
（鹿児島市）
- 35 市保健所災害時危機管理マニュアルについて（豊中市）
- 36 旅館業における建築確認及び検査済証・農林漁業体験民宿業における規制緩和
について（奈良市）
- 37 環境衛生監視指導計画について（豊橋市）

全国保健所長会長表彰（第58回）受賞者

57名

都道府県市区	氏名	保健所名
北海道	前田充泰	帯広保健所
〃	高松彰義	早来食肉衛生検査所
青森県	越後秀	八戸保健所
岩手県	花崎洋子	大船渡保健所
宮城県	松浦勉	大崎保健所
仙台市	及川艶子	若林保健所
秋田県	佐藤哲紹	横手保健所
山形県	鈴木武雄	村山保健所
福島県	佐藤七重	県南保健所
新潟県	風間茂	上越保健所
茨城県	野澤隆三	土浦保健所
栃木県	鶴見雅宏	県南保健所
群馬県	勅使川原洋子	桐生保健所
埼玉県	横関身江	熊谷保健所
千葉県	押垂幸子	山武保健所
〃	安田典代	安房保健所
神奈川県	小池小夜子	秦野保健福祉事務所
川崎市	深澤龍雄	中原保健所
山梨県	今井桂子	中北保健所峡北支所
長野県	安川照人	飯田保健所
静岡県	鈴木宏	熱海保健所
東京都	鈴木小夜子	南多摩保健所
特別区	金谷富美	台東保健所
〃	田尻由紀	深川南部保健相談所
富山県	中澤保文	新川厚生センター
石川県	板谷玲子	能登北部保健所
福井県	内田秀雄	丹南健康福祉センター
岐阜県	小鞠清子	東濃保健所
愛知県	長屋路子	豊川保健所

都道府県市区	氏名	保健所名
名古屋市	高木卓司	名東保健所
〃	山下伊喜知	中川保健所
三重県	大川正文	津保健所
滋賀県	三矢早美	高島保健所
京都府	蒲田多加子	丹後保健所
大阪府	梶谷紀子	四條畷保健所
兵庫県	中井五雄	豊岡保健所
〃	藤岡明子	神戸市保健所
奈良県	吉村伸吾	郡山保健所
和歌山県	山本紀美代	御坊保健所
鳥取県	大下早苗	倉吉保健所
島根県	山本祐子	松江保健所
岡山県	福吉さち子	備北保健所新見支所
広島県	下惠子	東部保健所福山支所
山口県	棚橋明彦	萩環境保健所
徳島県	伊丹幸子	徳島保健所
香川県	木村千代子	東讃保健所
愛媛県	藤原正方	今治保健所
高知県	窪内加代子	中央東福祉保健所
福岡県	三苫純子	糸島保健福祉事務所
福岡市	須佐三津代	博多保健所
佐賀県	山口日出子	鳥栖保健福祉事務所
長崎県	吉田悦子	上五島保健所
熊本県	郷博臣	水俣保健所
大分県	長野久美子	西部保健所
宮崎県	野口真智子	小林保健所
鹿児島県	新塘久美子	川薩保健所
沖縄県	池原和子	宮古福祉保健所

平成24年度 収入支出決算（案）（当年度予算比較）

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

1. 一般会計の部

単位：円

科 目	24年度当初予算額	24年度決算額	増減額	備 考
[収入の部]				
会 費	7,425,000	7,425,000	0	015,000×495
諸 収 入	1,000	247,851	246,851	
受取利息等	1,000	510	-490	
総会費残金	0	247,341	247,341	第69回総会費残金
繰 入 金	800,000	500,000	-300,000	
前 年 度 繰 越 金	0	333,736	333,736	
計	8,226,000	8,506,587	280,587	
[支出の部]				
事 業 費	2,050,000	2,012,076	-37,924	
研 修 会 費	400,000	317,599	-82,401	資料印刷代、旅費・謝金等
調 査 研 究 費	450,000	592,230	142,230	コピー代
資 料 作 成 費	400,000	391,723	-8,277	総会資料、要望書
表 彰 費	550,000	550,000	0	表彰者記念品、記念写真等
情 報 管 理 費	250,000	160,524	-89,476	HP管理費、会員限定ページセキュリティ向上
会 議 費	1,450,000	1,227,145	-222,855	
総 会 費	1,000,000	1,000,000	0	会場借上費等
理 事 会 費	150,000	173,290	23,290	会場借上費、会議費等
委 員 会 費	300,000	53,855	-246,145	会場借上費、会議費
地域ブロック・部会活動費	497,000	498,000	1,000	
業 務 委 託 費	3,500,000	3,500,000	0	
需 用 費	530,000	344,306	-185,694	
使 用 料	100,000	10,000	-90,000	
通 信 費	300,000	230,308	-69,692	
消 耗 品 費	50,000	31,395	-18,605	封筒等
雑 費	80,000	72,603	-7,397	名刺、備品等
旅 費	100,000	121,660	21,660	事務局総会等出席旅費（山口市）
予 備 費	99,000	0	-99,000	
繰 出 金	0	0	0	
支 出 合 計	8,226,000	7,703,187	-522,813	
次 年 度 繰 越 金	0	803,400	803,400	

平成24年度 収入支出決算（案）（前年度決算比較）

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

1. 一般会計の部

単位：円

科 目	23年度決算額	24年度決算額	増減額	備 考
[収入の部]				
会 費	6,975,000	7,425,000	450,000	①15,000×495
諸 収 入	174,612	247,851	73,239	
受取利息等	659	510	-149	
総会費残金	173,953	247,341	73,388	第69回総会費残金
繰 入 金	120,702	500,000	379,298	
前年度繰越金	1,114,298	333,736	-780,562	
計	8,384,612	8,506,587	121,975	
[支出の部]				
事 業 費	2,196,209	2,012,076	-184,133	
研 修 会 費	662,330	317,599	-344,731	資料印刷代、旅費・謝金等
調 査 研 究 費	426,035	592,230	166,195	コピー代
資 料 作 成 費	469,644	391,723	-77,921	総会資料、要望書
表 彰 費	550,000	550,000	0	表彰者記念品、記念写真等
情 報 管 理 費	88,200	160,524	72,324	HP管理費、会員限定ページセキュリティー向上
会 議 費	1,462,524	1,227,145	-235,379	
総 会 費	1,000,000	1,000,000	0	会場借上費等
理 事 会 費	194,676	173,290	-21,386	会場借上費、会議費等
委 員 会 費	267,848	53,855	-213,993	会場借上費、会議費
地域ブロック・部会活動費	497,000	498,000	1,000	
業 務 委 託 費	3,500,000	3,500,000	0	
需 用 費	293,083	344,306	51,223	
使 用 料	0	10,000	10,000	
通 信 費	246,203	230,308	-15,895	
消 耗 品 費	17,850	31,395	13,545	封筒等
雑 費	29,030	72,603	43,573	名刺、備品等
旅 費	102,060	121,660	19,600	事務局総会等出席旅費（山口市）
予 備 費	0	0	0	
繰 出 金	0	0	0	
支 出 合 計	8,050,876	7,703,187	-347,689	
次年度繰越金	333,736	803,400	469,664	

2. 特別会計の部
運用資金積立金

単位：円

科 目	24年度当初予算額	24年度決算額	比較増減額	備 考
[収入の部]				
繰越金	3,430,100	3,430,245	145	
繰入金	0	0	0	
諸収入	1,000	547	-453	利息
計	3,431,100	3,430,792	-308	
[支出の部]				
繰出金	800,000	500,000	-300,000	
予備費	2,631,100	2,930,792	299,692	
計	3,431,100	3,430,792	-308	

収入済額	3,430,792	
支出済額	500,000	
差引残額	2,930,792	次年度繰越

財産目録（案）

平成25年4月1日現在

単位：円

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
預 金	
(一般会計)	
普通預金	三井住友銀行新宿通支店 639,841
郵便振替貯金	ゆうちょ銀行 163,559
(運用資金積立金)	
普通預金	三井住友銀行新宿通支店 2,930,792
流動資産合計	
資 産 合 計	3,734,192
II 負債の部	
流動負債	
未払い金	0
負債合計	0
III 正味財産の部	
正味財産	803,400
運用資金積立金	2,930,792
正味財産合計	3,734,192
負債および正味財産合計	3,734,192

平成24年度事業報告及び収入支出決算の
監査報告書

平成24年度における全国保健所長会の事業について事業報告を
もとに監査するとともに、本会の決算について会計帳簿、証票書
類、預金通帳等に基づき監査したところ、事業が適正に行われ、
収入支出に誤りなく、事業目的に従い適正に処理されており、期
末貸借対照表及び財産目録のとおり資産が管理されていることを
確認したので報告します。

平成25年10月1日

監 事

郡山市保健所長

阿 部 孝 一



監 事

特別区江東区保健所長

浦 山 京 子 印

監 事

(前) 和歌山県御坊保健所長

野 尻 孝 子



平成25年3月31日現在

役 員

会 長	長野県飯田保健所	佐々木 隆一郎
副会長	青森県弘前保健所	山 中 朋 子
〃	特別区渋谷区保健所	倉 橋 俊 至
〃	鹿児島県伊集院保健所	宇 田 英 典
〃	三重県津保健所（理事兼務）	中 山 治
理 事	北海道帯広保健所	相 田 一 郎
〃	青森県八戸 兼 東地方保健所	宮 川 隆 美
〃	福島県県北保健所	遠 藤 幸 男
〃	山梨県中北保健所	古 屋 好 美
〃	静岡県御殿場保健所	岩 間 真 人
〃	川崎市高津保健所	大 塚 吾 郎
〃	東京都多摩立川保健所	大 黒 寛
〃	石川県石川中央保健所	伊 川 あけみ
〃	大阪府枚方保健所	笹 井 康 典
〃	兵庫県龍野保健所	大 橋 秀 隆
〃	島根県出雲保健所	岸 本 泰 子
〃	徳島県三好保健所	中 川 洋 一
〃	福岡県糸島保健所	宮 崎 親
〃	宮崎県中央保健所	藤 崎 淳一郎
〃	仙台市青葉保健所	大 熊 恒 郎
〃	川崎市川崎保健所	益 子 ま り
〃	長崎市保健所	早 田 篤
〃	柏市保健所	山 崎 彰 美
〃	特別区荒川区保健所	金 田 麻里子
〃	旭川市保健所	山 口 亮
〃	茨城県筑西保健所	緒 方 剛
〃	特別区台東区保健所	矢 内 真理子
〃	富山県砺波厚生センター	大 江 浩
〃	兵庫県洲本保健所	柳 尚 夫
監 事	和歌山県御坊保健所	野 尻 孝 子
〃	特別区江東区保健所	浦 山 京 子
〃	郡山市保健所	阿 部 孝 一

平成25年度補正予算(案)

1. 一般会計の部

単位：円

科 目	25年度予算額	補正予算額	25年度補正後予算額	備 考
[収入の部]				
会 費	7,425,000	0	7,425,000	保健所数1箇所減による
諸 収 入	1,000	0	1,000	
受 取 利 息 等	1,000	0	1,000	
総 会 費 残 金	0	0	0	
繰 入 金	800,000	-800,000	0	運用資金積立金から繰り入れ金
前 年 度 繰 越 金	0	803,400	803,400	
計	8,226,000	3,400	8,229,400	
[支出の部]				
事 業 費	2,050,000	0	2,050,000	
研 修 会 費	400,000	0	400,000	
調 査 研 究 費	450,000	0	450,000	委員会調査費等
資 料 作 成 費	400,000	0	400,000	予算決算書・要望書等作成
表 彰 費	550,000	0	550,000	
情 報 管 理 費	250,000	0	250,000	
会 議 費	1,600,000	0	1,600,000	
総 会 費	1,000,000	0	1,000,000	会場借上費等
理 事 会 費	300,000	0	300,000	※外部会議室使用料のため
委 員 会 費	300,000	0	300,000	
地域ブロック・部会活動費	498,000	-1,000	497,000	保健所数減少による
業 務 委 託 費	3,500,000	0	3,500,000	(財) 日本公衆衛生協会
需 用 費	460,000	0	460,000	
使 用 料	30,000	0	30,000	会議室使用料
通 信 費	300,000	0	300,000	郵便料・電話料
消 耗 品 費	50,000	0	50,000	
雑 費	80,000	0	80,000	慶弔費等
旅 費	100,000	0	100,000	事務局総会等出席旅費津市
予 備 費	18,000	4,400	22,400	
繰り出し金	0	0	0	
計	8,226,000	3,400	8,229,400	

2. 特別会計の部
運用資金積立金

単位：円

科目	25年度当初予算額	補正予算額	25年度補正後予算額	備考
[収入の部]				
繰越金	2,931,100	0	2,931,100	
繰入金	0	0	0	
諸収入	1,000	0	1,000	
計	2,932,100	0	2,932,100	
[支出の部]				
繰出金	800,000	-800,000	0	
予備費	2,132,100	800,000	2,932,100	
計	2,932,100	0	2,932,100	

平成26年度事業計画(案)

1. 会議の開催
 - (1) 総会 第71回全国保健所長会総会を開催する。
(開催地：栃木県宇都宮市・開催年月：平成26年10月)
 - (2) 理事会 年3回開催する。
2. 保健所長会研修会の開催
3. 委員会活動
4. 地域ブロック活動
各地域ブロックにおいて会議の開催、調査研究等を実施する。
5. 部会活動
各部会において会議の開催、調査研究を実施する。
6. 調査研究
保健所長会として必要な調査研究を実施する。
7. 要望活動
保健所行政の施策等を推進するため、国に対し必要な要望をおこなう。
8. 表彰
保健所事業功労者の表彰を行う。
9. その他
 - (1) 全国保健所長会ホームページの運営および情報・資料の提供
 - (2) 全国保健所長会活動等のニュースの掲載(公衆衛生情報)
 - (3) 関係団体との連絡調整
 - (4) その他本会の目的を達成するために必要な事項

平成26年度収入支出予算(案)

1. 一般会計の部

単位：円

科 目	26年度予算額	25年度当初予算額	増 減	備 考
[収入の部]				
会 費	7,410,000	7,425,000	-15,000	15,000×494
諸 収 入	1,000	1,000	0	
受 取 利 息 等	1,000	1,000	0	
総 会 費 残 金	0	0	0	
繰 入 金	800,000	800,000	0	運用資金積立金から繰り入れ
前 年 度 繰 越 金	0	0	0	
計	8,211,000	8,226,000	-15,000	
[支出の部]				
事 業 費	2,150,000	2,150,000	0	
研 修 会 費	400,000	400,000	0	
調 査 研 究 費	450,000	450,000	0	委員会調査費等
資 料 作 成 費	400,000	400,000	0	予算決算書・要望書等作成
表 彰 費	550,000	550,000	0	
情 報 管 理 費	250,000	250,000	0	
旅 費	100,000	100,000	0	事務局総会等出席旅費
会 議 費	1,600,000	1,600,000	0	
総 会 費	1,000,000	1,000,000	0	会場借上費等
理 事 会 費	300,000	300,000	0	
委 員 会 費	300,000	300,000	0	
地域ブロック・部会活動費	497,000	498,000	-1,000	
業 務 委 託 費	3,500,000	3,500,000	0	(財) 日本公衆衛生協会
需 用 費	460,000	460,000	0	
使 用 料	30,000	30,000	0	会議室使用料
通 信 費	300,000	300,000	0	
消 耗 品 費	50,000	50,000	0	
雑 費	80,000	80,000	0	慶弔費等
予 備 費	4,000	18,000	-14,000	
繰り出し金	0	0	0	
計	8,211,000	8,226,000	-15,000	

2. 特別会計の部
運用資金積立金

単位：円

科目	26年度予算額	25年度予算額	増減	備考
[収 入 の 部]				
繰越金	2,932,100	2,931,100	1,000	
繰入金	0	0	0	
諸収入	1,000	1,000	0	利息等
計	2,933,100	2,932,100	1,000	
[支 出 の 部]				
繰出金	800,000	800,000	0	
予備費	2,133,100	2,132,100	1,000	
計	2,933,100	2,932,100	1,000	

